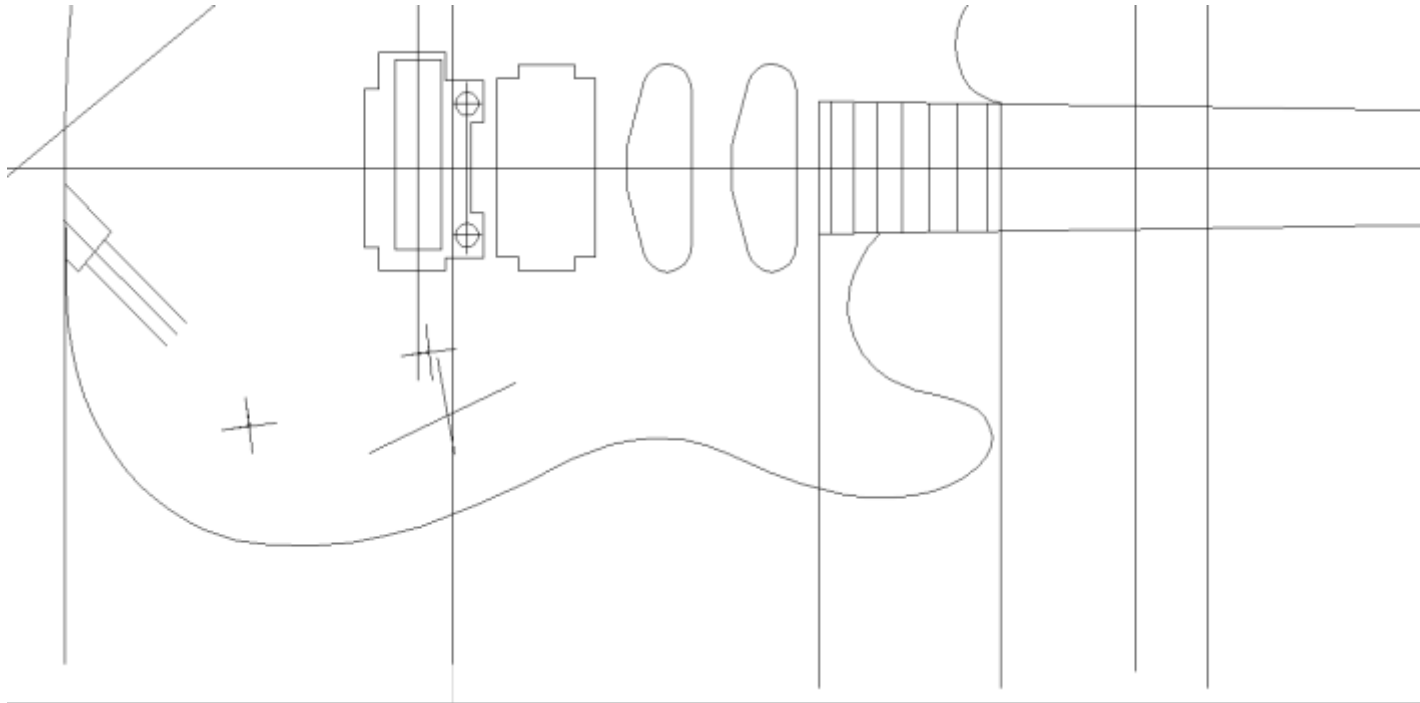


ボディ側面図の作成方法

製図板またはイラストレーター、CADでギターの図面を作成する方法である。

1: 正面図に引いた線と平行に野書きます。

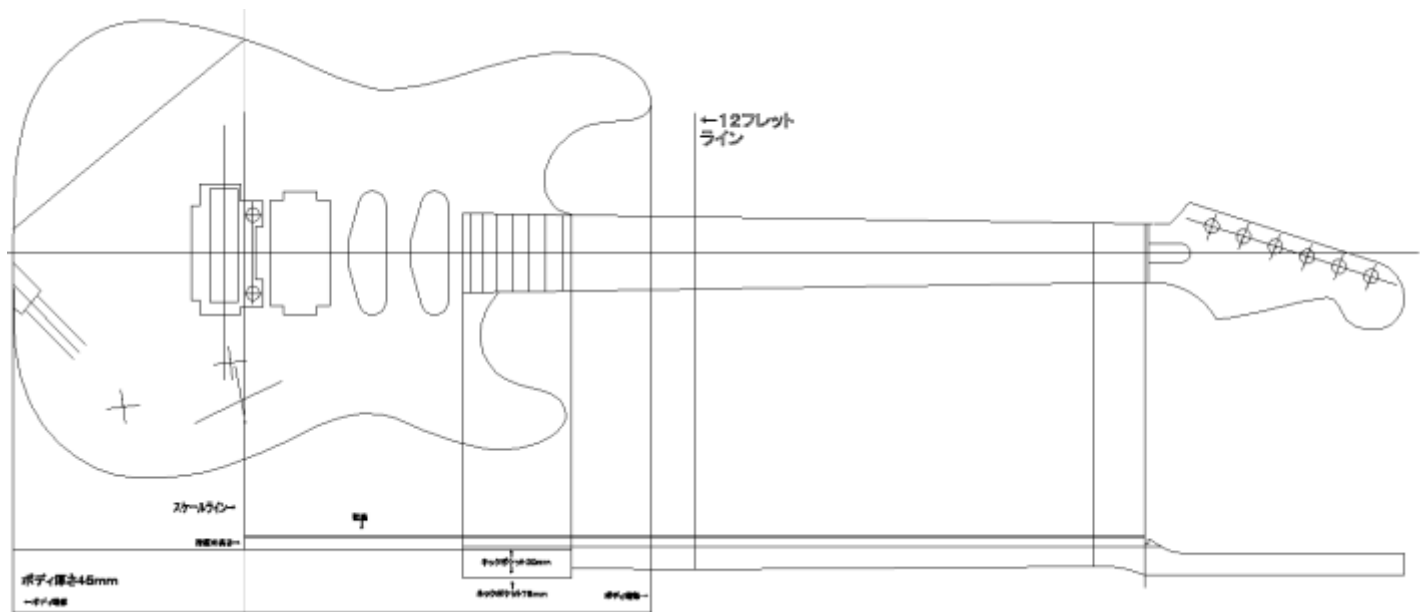


2: 通常特別な理由がない限り、ネックは角度を付けません。

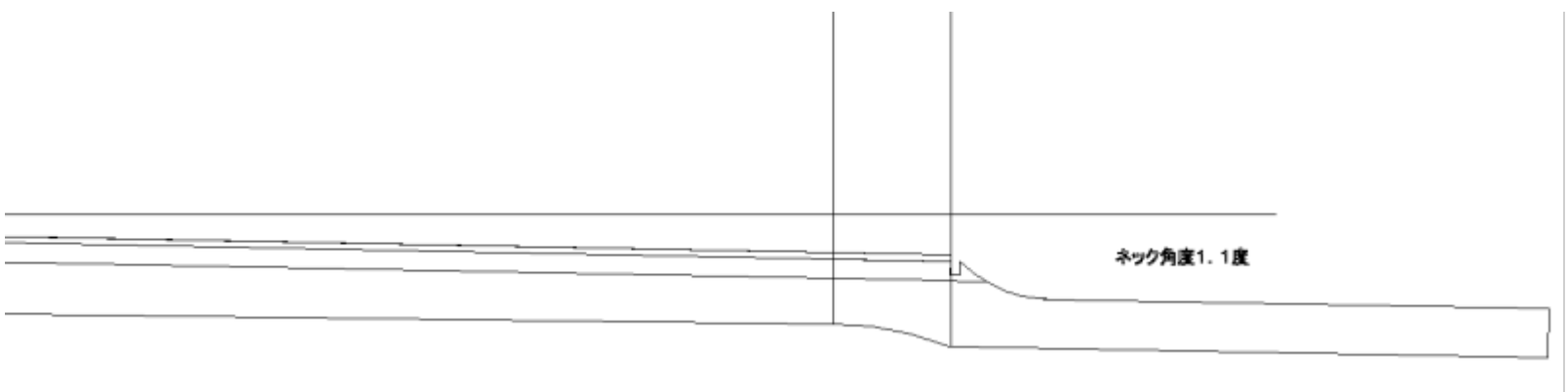
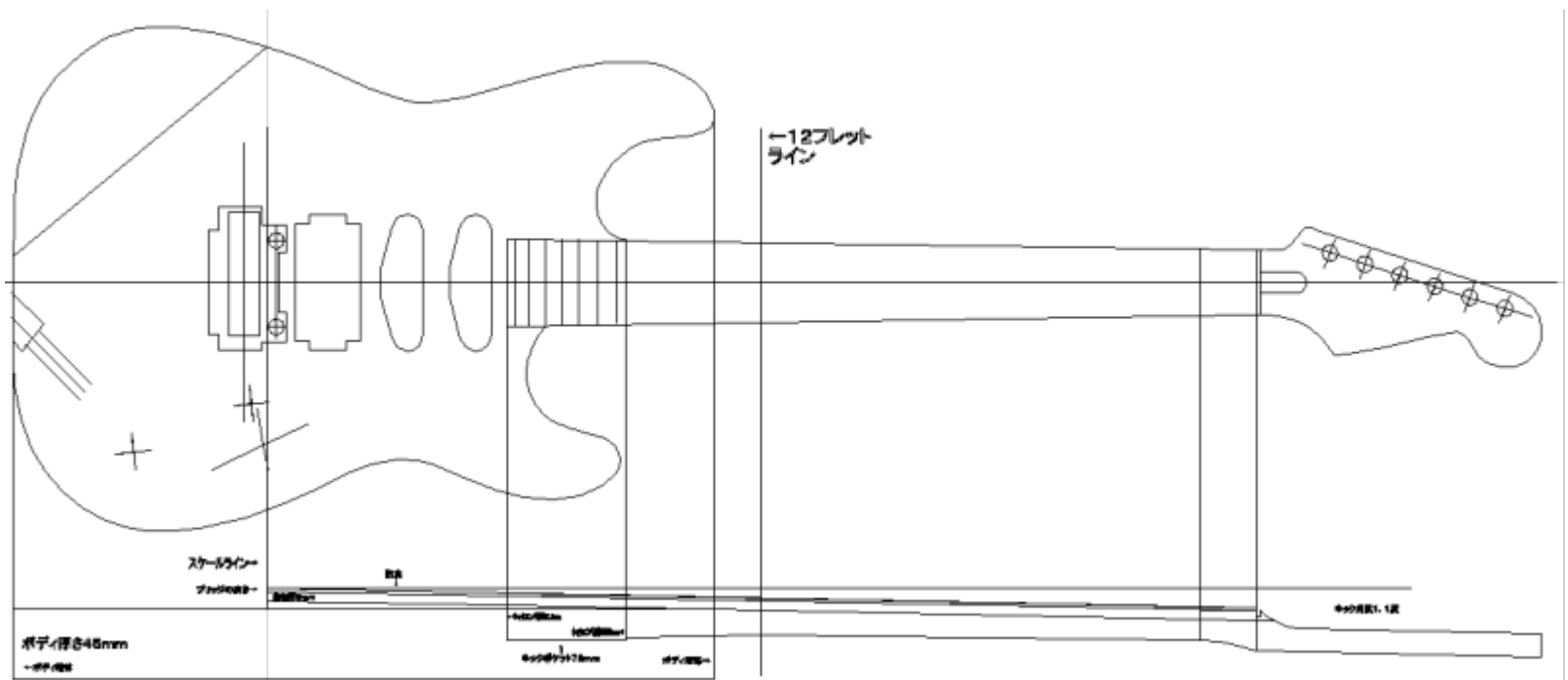
この場合イラストレータ割引やCAD 割引きや製図板を使用した場合での作成はありません。

ただし弦高が高くなるT・O・Mやリセスザクリのないフロイドローズ等はボディやネックの側面図が必要となります。

下記はネック角度無し



3: STタイプやTEタイプ等のギターに角度を付ける場合、ブリッジの高さから(TOM18mm、フロイド16mm等)ヘッド方向に真直ぐ線を引き、引いた線から角度を計算してスケールライン方向に線を引きます。(LPの場合4度または3度前後、図面の場合1.8度「下記の角度が間違っていて表記しています。」を付け)弦高2mm+フレット1mm、指板厚6mm(計9mm)をネックの角度と同じ角度でスケールライン方向に線を引きます。リセスザクリする場合は予定する落とし込みの厚みを引きます。



スケールライン→ ブリッジの高さ→	弦高 ↓ 指板厚8mm				
ボディ厚さ45mm ←ボディ増部		ネックポケット78mm ↑	ボディ増部→		

4:アーチトップのネックの角度付きは、例えばトップ材が15mm、バック材が35mm計50mmだった場合、トップ材の端部の厚みからアーチとして落とす材厚(図面では5mm)にスケールラインに記したブリッジの高さ(TOM18mm・フロイド16mm)から弦高2mm+フレット1mm、指板厚6mmを引き、この引いた場所からトップ材の厚みからアーチとして落とす材厚の部分まで線を引きます。この部分がネック角度付きとなります。リセスザクリする場合は予定する落とし込みの厚みを引きます。

